



# 二葉だより

<http://www.sumida.ed.jp/futabasho/>

平成28年6月30日

No. 4

墨田区立二葉小学校

## 「よりよい生活を築く」

校長 水谷 光一

先日、雪深さで有名な新潟県の魚沼市にある「銀山平」に出かけてきました。そこでは一年中消えない雪、万年雪が見られます。今年も雪は見られたのですが、例年と違いかなり雪の量が減っていました。いつもなら、夏になってから雪が溶けてきて見ることのできる滝が、もうすでに見えました。魚沼の方とお話をすると、今年は例年に比べ、雪の降った量がかなり少なかったということでした。

雪解け水はミネラルを豊富に含み水田を潤します。夏の高温時には、冷たく清冽な水が土壌の温度の上昇を抑え、稲の根に活力を与えながら健やかな成長を促すのだそうです。豪雪がもたらす「豊かな良質な水」が魚沼の美味しいお米作りを支えているようです。さらに降り積もった雪を室に格納し、これを利用してお米の鮮度を守ることもするそうです。「雪が多く降らない方が楽だろう。」と聞いていましたが、「やはり、雪国には雪がないと困るなあ。」という土地の人の言葉が印象的でした。大自然の中で経験を積み重ね、知恵を絞って大変さをよさに変え、よりよい生活を作り上げてきた人々にとって、いつもと違うことはかえって困ったことになるのだな、と感じました。

先日、代表委員会で学校の生活を見つめ直そうと子供たちが話し合いをしたそうです。「廊下を走っていて危ない。」という課題が出ました。その課題を解決するために、「パトロールをしたらよいのではないか。」という案が出ました。さらに、話し合いの中で「それより、教室の中でもできる楽しい遊びを紹介したらどうか。」という案が出てきたということ、担当の先生から聞きました。自分たちの生活をきちんと振り返り、課題を解決するために話し合っ、よりよい解決方法を探し出している、子供たちは育っているなと感じました。いろいろな状況の中で、お互いによりよい生活を送るために知恵を出し合うことは大事なことです。課題解決に向け、知恵を出し合うことは、魚沼の米づくりにも通じるところがあるのではないのでしょうか。

集団の一員としての自覚を深めながら協力して仕事をし、楽しい生活を築く態度を育てる。「みんなで築く楽しい学校生活」これは、本校の教育目標の一つです。

地球の環境問題を考えた時に、大正解という答えはないかもしれません。しかし、少しでも環境に良いことをできるように、知恵を出し合い、行動していくことが大事なのでしょう。これから大人になっていく子供たちには、一人一人がお互いのことを考えながら知恵を出し合っていく力が重要になっていくのでしょうか。そんな力を育てていきたいです。

**7月は環境月間**です。環境のことを子供たちが考えるきっかけにしてほしいです。東京では、ダムに雨水がたまらず、プール中止等も心配されているところです。蛇口をしっかりしめる、電気をこまめに切るなど、自分たちでできることから実行してくれるとうれしいです。